

ボーリング柱状図

調査名 一本松川護岸現況調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 9		調査位置	福岡市城南区长尾5丁目外地内			北緯	33° 33' 36.4"		
発注機関	福岡市 道路下水道局 建設部 河川課			調査期間	平成 23年 9月 28日 ~ 23年 12月 26日		東経	130° 22' 39.9"		
調査業者名	日本地研株式会社 電話 (092-571-2764)		主任技師	橋本 圭太郎		現場代理人	山口 敏史	コ鑑定者	山口 敏史	
ボーリング責任者	田中 茂喜									
孔口標高	GH= +4.42m		角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	7.00m		使用機種	YBM-05		ハンマー落下用具	コーンプーリー			
			エンジン	NFAD8-K		ポンプ	SP-30			

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進 月日
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
1	4.02	0.40	0.40	砂礫	黄褐				φ20~200mm程度の垂角礫を主体とするマトリックスは細砂~中砂 下位は礫の混入が少ない	1.15	2	2	3	7						
2				強風化花崗岩	暗青灰	緩い~中くらい			花崗岩の強風化帯(土砂状) 風化進行するが岩組織は認められる 試料は半固結土状で採取されるが軽い指圧で土砂状となる 長石は風化によりシルト状を呈する 岩級区分はD級である	1.45	4	6	8	18						
3	1.42	2.60	3.00	風化花崗岩	暗青灰~褐灰	非常に密な			花崗岩の風化帯(軟岩相当層) 風化進行するが上位より固結度は高い 岩組織は明瞭に認められる 試料は半固結土状を呈するか軽い~中くらいの指圧で土砂~礫状となる 長石は風化によりシルト状を呈する 岩級区分はD級~CL級である	2.15	22	28	50	20						
4										3.15	20	30	50	19						
5										3.35	45	5	50	11						
6										4.15	50	3	50	3						
7	-2.58	4.00	7.00							4.34	50	3	50	3						
										5.05										
										5.16										
										6.05										
										6.08										
										7.03										
										7.06										

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。